



スマホでも
読めます

きっと・ずっと・もっと。
長泉町議会

みらいずみ



裏表紙のインタビューもご覧ください

特集 もっと読まれる議会だより、始めます

No.211
2024.8.1
(令和6年6月定例会)



リニューアル動画もつくりました！

植松議員による



議員のお作法 ▼ 議会開会中は、不測の事態に備え、遠方に行くことは控えています。

POINT③ 町民登場

親近感を持ってほしい！

▶▶▶ 町民インタビューを実施

町民の声を写真付きで掲載することで、親近感を持ってもらうことができ、更には新たな読者の獲得にもつながると考えました。また、議員が町民に直接取材に行き、町民のリアルな声をキャッチすることで、今後の町政にも生かすことができます。一方的なお知らせから双方向のコミュニケーションを目指して！取材のお願いの際はぜひご協力ください。

議員が取材 People's Voice /
きっと・ずっと・もっと

「議会を身近に感じます」

長泉生まれ長泉育ちの家族です。今回、直接議員と話すことで町の事業や議会を身近に感じることができ、良い取り組みだと思います。(下土狩 高橋さんファミリー)



「議員のお作法」も、親近感をもってもらうための工夫です。

POINT④ 数字で表現

「自分ごと」として捉えてほしい！

▶▶▶ 関連する数値を記載

町民が関心のある記事を優先するだけでなく、より「自分ごと」として捉えていただくため、記事にまつわるさまざまな数値を掲載することにしました。例えば、ごみ処理施設の今後を検討する事業に対し「町民1人1日あたりのごみ排出量」を記載することで、ぐっと身近に感じると思います。全ての施策は町民のため。今後も、より「自分ごと」と感じられる情報の伝え方を研究していきます。

「読んだ・わかった・考えた」 わたしも一言

議会だよりNo.210「わが町たんけんクイズ」ではリニューアルへの感想もたくさんいただきました！その一部をご紹介します。このほかの感想はP.15へ！

リニューアルされた議会だより、みらいずみ…すてきです。議員のお作法…身近に感じます。全体の記事も読みやすく理解できます。

(70代)

デザインが見やすく、また町民への聞き取りもされており、好印象です。寄り添う姿勢に今後も期待します！

(30代)

「みらいずみ」とてもすてきです。考えてくれたのは中学生。町の将来を担う子どもたちの思いが詰まった愛称だと思いました。

(40代)

読まずに捨てるなんて言わないで……

もっと読まれる議会だより、 始めます！

前号210号から新しい装いでスタートした議会だより「みらいずみ」。議会のことを「より分かりやすく」「より身近に」「ひとりでも多くの」町民に届けたい！そんな思いで議論を重ね、リニューアルを行いました。前号でお伝えできなかった新しい議会だよりのポイントをお伝えします。

POINT① 表紙ロゴ

住民と一緒に作りしたい！

▶▶▶ 議会だよりの愛称を公募

「リニューアルするなら、住民の方と一緒に」そんな思いで愛称の公募を決定。全国から379通もの応募をいただきました。採用されたのは町内の中学生 後藤権さんが考えてくれた「みらいずみ」。「議会は町の未来をつくる場所。より良い町の未来を願って」という思いが込められています。特別賞には「ミライズミ」(松山佐和子さん)、「きっと・ずっと・もっと」(小野杏菜さん)を選定しました。

後藤権さんに interview /
きっと・ずっと・もっと
「長泉町が大好き」

長泉町が大好きで、町の広報や議会だよりを全てファイリングしています。町に直談判して「ちょうどいい宣伝部」にも入りました！サイクリングが趣味で町の名所も回っています。今後、小・中学校の施設整備に期待しています。(写真は妹の七海さんと)



きっと・ずっと・もっと
長泉町議会

「きっと・ずっと・もっと」は議会のブランドコンセプトとして採用。考えてくれた小野さんも、中学生です。

POINT② 紙面デザイン

幅広い世代に関心を持ってほしい！

▶▶▶ 紙面デザインを一新

幅広い世代に関心を持ってもらえるデザイン・色使いに変更しました。写真を多く使うこと、余白をしっかり取ることを心がけ、読みやすさを重視していきます。伝えたいことがありすぎて、ついつい文字が多くなりがちですが、優先順位を決め、タイムリーで正確な情報を伝えられる構成にしていきます。





児童手当制度改正の詳細

議員のお作法 ▼ 町民の皆さまの声を届くための毎回議会一般質問を行います。



議員が取材 People's Voice / きっと・ずっと・もっと

「わかりやすいお知らせに期待します」

高校生も第3子もいるので、児童手当が拡充されうれしいです。大幅な改正となるようなので、対象者に漏れなく周知され、スムーズに受給できるような町の対応に期待します。

(本宿 中尾田さんファミリー)

児童手当はこう変わる！ (12月支給分から適用)

- ◆高校生年代まで支給期間延長
- ◆第3子以降の支給額が3万円に増額
- ◆所得制限の撤廃
- ◆年3回の支給から偶数月(年6回)の支給に

公開します 審議した議案と議員ごとの賛否

7 議案 を可決

議案	議員	審議結果	杉森賢二	若林徹	石川美穂	内田幸英	安田津子	太沼正明	福田明	宮口嘉隆	堀内浩	長野晋治	杉山夏男	植松英樹	米山智	井出春彦	下山和則
6月定例会(6月3日~6月18日)																	
諮第4号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議第165号	長泉町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議第166号	令和6年度長泉町一般会計補正予算(第2回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議第167号	令和6年度長泉町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議第168号	令和6年度長泉町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議第169号	静岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第3回臨時会(6月27日)																	
議第170号	財産の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○は賛成、×は反対、議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ採決に参加します。

傍聴は議場で！スマホで！「いつでも・だれでも」

議場は役場3階。傍聴したい方は議会ホームページで予定を確認していただくか、議会事務局にお問合せください。(TEL 055-989-5526)

拡充による新たな対象 約1,000世帯

児童手当が大幅拡充！ 対象者に漏れなく周知を

児童手当事務費 376万円

児童手当制度の改正に対応するためのシステム改修や対象者に周知を行うための費用を計上するもの。

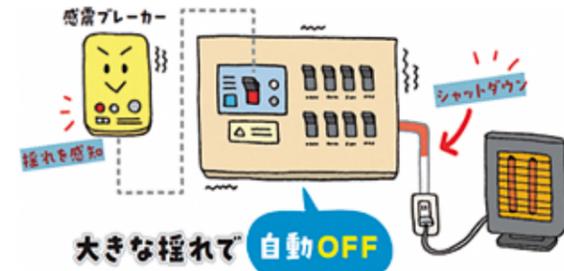
質疑Pick up! 漏れなく周知するための方法

問 新たに申請が必要な方もいるが、その周知方法は。

答 新たに申請が必要な方へ8月ごろに通知するほか、広報ながいずみ、町ホームページなどで周知する。

地震による町内の火災の被害想定(相模トラフ・レベル2)

100棟



大きな地震に備え、自助の強化を

感震ブレーカー設置事業費補助金 300万円

分電盤タイプの感震ブレーカー設置費用の一部を補助する。

補助額：設置費用の1/2 (1世帯の補助上限額：3万円)

質疑Pick up! 分電盤タイプに限定した理由

問 感震ブレーカーには簡易型で安価なものもあるが、分電盤タイプのみを対象とした理由は。

答 分電盤タイプは揺れを感知してから電気を遮断するまでに3分程度の時間的猶予があり、この間に避難経路の確保や、電気器具の安全確認による通電火災のリスクが回避されるため、分電盤タイプのみとした。

わたしたちの未来、だいじょうぶ？



PICKUP 補正予算

児童手当や定額減税補足給付金、マイナンバーカードの保険証利用など、制度の改正にともなう補正予算が多かった6月定例会。制度の改正にはきめ細やかな周知・対応が求められます。このほか、議会が目じたのは感震ブレーカーの補助事業。災害への備えは未来への投資。町民一人一人の意識づけが必要です。

議員が取材 People's Voice / きっと・ずっと・もっと「災害に強いまちに」

能登半島地震被災地に派遣され、石川県穴水町の避難所運営に従事しました。避難所では「隣近所もアツという間に延焼拡大し、あたり一面が焼け野原となってしまった」

「思い出の品がすべて燃えてしまった」など悲痛な声が聴こえてきました。過去の大規模地震では出火原因の約6割が電気関連であり、特に停電復旧後の「通電火災」が懸念されます。災害時に電気火災を起こさない取り組みのひとつとして、提案しました。

(地域防災課 主事 斉藤風多)



今号の「すくすく育て！ながいずみキッズ」は加藤千絵ちゃん(下長蓮)

一般質問

医療・福祉

堀内 浩議員の視点



住民の課題は多種多様であり、時代と共に変化する。「誰ひとり取り残さない」取り組みが望まれる。



薬の乱用は命にかかわる重大事態に！

くらし

安田 三津子議員の視点



自治体間格差のあるふるさと納税制度に対して、他の流出額が多い町と連携して直接総務省に要望すべきと考える。



クレマチスの丘内レストラン棟の早期開館を県に要望し、食事券を現地消費型ふるさと納税返礼品に

クレマチスの丘を現地消費型返礼品に

答弁 その提案も含め検討していく

ふるさと納税制度

問 最新のふるさと納税減収額と寄附分は。

答 寄附額は令和5年度904万7千円。令和5年度控除額は1億9376万9千円である。

問 県に無償譲渡され閉館中のヴァンジ美術館だが、クレマチスの丘をウェディングフォトスポットに。またレストランの食

事券を現地消費型ふるさと納税返礼品に。

答 県では当町も含めたクレマチスの丘の検討会を開催しているが、県の施設であることから、その提案を含めさまざまなアイディアを検討し県に提案していく。

問 以前のふるさと納税の一般質問で減収に対して国に要望していくと答弁されたが、どこにどのように働きかけているのか。

答 国から地方創生コンシェルジュに選任されている静岡財務事務所長も参加する金融懇談会を定期的に開催しており、直接ふるさと納税の当町の状況や控除額の上限引き下げなどの制度改正の要望を伝え、本省にも報告されたことを連絡いただいている。

また静岡県町村会を通じて国や県へ要望活動も行っている。

循環バス実証運行今後の運用は

答弁 乗降調査し令和7年度便数変更などを検討

問 少ない乗客数の循環バスの時刻の再考を。またバスのダイヤの決め方は。

答 長泉町地域公共交通協議会において協議・決定しており、定時制を確保しやすいダイヤ、買い物、通院、バス事業者の労務管理、乗り換え拠点や乗り換え時間などに配慮している。

問 課題と今後の運用は。

答 3千万円、単純計算で利用一人あたりの経費は約3100円となり、令和6年度は乗降調査による便別、曜日別の利用状況などのデータ分析を行い、令和7年度の便数変更(減少)など運行形態や実証運行後のあり方を協議会で検討していく。

問 紙チケット廃止でタクシー利用助成の登録や利用状況は。

答 4月末時点で累計2232人、利用者1147人である。

高年齢者施策の充実を

問 小学校の「古典芸能に親しむ会」に出演する落語家による地区の公民館での公演など身近で文化的事業の開催を。

答 各公民館で行う考えはないが、くすのき学級で教養講座の一つに落語鑑賞があり参加を案内していく。

若年層のオーバードーズ対策は

答弁 引き続き未然に防ぐよう努めたい

問 薬物依存による健康被害から、一人でも多くの若者を守るための対策は。

答 オーバードーズに至る背景には、学校・職場での「悩み」「生きづらさ」を抱えている中で、薬の過剰な服用によってパフォーマンスを上げ、気分を変え、気持ちよくなることで自身の欲求を満たそうとしていることが考えられる。町では、精神科医の「こころの健康相談」を実施し、必要に応じて県の「薬物乱用相談窓口」への案内もしている。また、学校では中学1年生を対象に薬剤師による薬学講座を行っているほか、オーバードーズが命にかかわる重大事態となり得ることから、教職員は日々の声掛けを通して小さな変化を見逃さず、心の教室相談員や養護教諭と情報共有を図りながら心の不安を解消することに努めている。また、事案が発生した場合には、医療機関につなげ、専門的な治療を勧めている。引き続き未然に防いでい

けるよう努めていきたい。

がん乗り越え子育てに挑戦

問 「長泉町若年がん患者妊よう性温存治療支援事業」により補助金が交付されているが、補助対象とならない項目がある。がん治療を控える中で自己負担を抑えるために自己負担をなくすることはできないか。

答 助成の対象は温存療法に要する費用である。交通費、入院費、凍結保存の維持に係る費用などは対象外で、現時点では助成は考えていないが、国や県、他市町の動向を注視したい。

問 保育ソーシャルワーク(地域連携推進委員)の導入を。

答 保育所などにおいて子ども達の発達、育児に関する不安、児童虐待など、何らかの支援、配慮を必要とする児童について、庁内関係課で情報を共有し、相談対応を行っている。また、特別支援教育専門員3人の定期的な巡回訪問に加え、連絡会を毎月開催し助言などの支援をしている。保育ソーシャルワークの導入については、今後、保育所などの現場職員に聞き取りを行うほか、有効性や内容について先進自治体の状況を調査研究したい。

「小1の壁」どう乗り越える

問 保育園では朝7時から子どもを預かる対応がされている。他自治体で小学校での実施例があり、共働き世帯への支援となるが、当町でも実施できないか。

答 朝の預かりは、首都圏の共働きが多い地域で実施されてい

一般質問

医療・福祉

福田 明議員の視点



小児科医院は都市部に多く地方は少ない。当町では一院になってしまった。早めに対策を立てて誘致をして欲しい。



地域に密着した「かかりつけ医」である小児科医院

くらし

杉森 賢二議員の視点



人口減少高齢化が進む日本において外国人が活躍できる環境整備は必要不可欠で地域でどのように受け入れるかが重要だ。



外国人にやさしい英語表記を加えた案内標識（鮎壺公園内）

外国人コミュニティ多文化共生の展開は

答弁 生活実態を把握し困り事を把握していく

外国人観光客対応を

問 外国人視点の、町が取り組むインバウンド関連事業は。

答 令和6年度、JR三島駅から下土狩駅周辺までの歩行者案内サインの整備を計画している。三島駅北口周辺の宿泊施設を利用する外国人観光客に対し、鮎壺の滝や割狐塚稲荷神社などへ誘導するため、外国語表記を施すなど、インバウンドに対応した取り組みを図っていく。

外国人の受け入れ施策を

問 外国人労働者人材確保に向け、県や商工会、企業団体との意見交換など連携を。また、企業と労働者に対する支援策を。

答 商工会では、会員事業所に対し、外国人労働者の雇用方針や雇用状況、雇用する場合の課題など、外国人労働者に関するアンケートを実施する予定で、その調査結果を情報共有し、企

業及び外国人労働者に対する支援を近隣市町の状況を確認しながら研究していく。

問 外国籍児童・生徒に係る就学支援を。また、受け入れ体制に対する整備の充実を。

答 日本語支援が必要な児童生徒に、県の日本語支援の職員や静東教育事務所の外国語支援訪問などを通じた個別支援により、学校生活に支障がない程度の日本語能力を身につけている状況にあることから、今後も外国籍の児童生徒の状況に注視し、適切な支援が行き届くよう努めていく。

町となるよう多文化共生施策を進めていく。まずは、日本語教室の継続的な開催により、町内在住外国人の生活実態を把握し、困りごとなどを把握していく。

問 これまでになかった考え方や文化を取り入れることで生まれる相乗効果が見つかると期待しているが、これから求められる共生施策など町の多文化共生の展開は。

答 町の第5次総合計画で「町内在住の外国人が暮らしやすい環境整備の推進」を掲げており、地域の日本人と外国人がお互い理解しながら暮らしやすい状況にあること、現時点では公費助成を行う予定はないが、矯正治療に対する申請が令和3年の国会で採択されているので、国の動向を注視していく。

小児医療機関の誘致が必要では

答弁 小児科医の不足や立地など課題が多い

小児科医院の誘致

問 小児科医療機関を誘致して、医院開設にあたり助成を。

答 全国的に小児科医の不足は問題となっており、町の小児科医療機関も一医院で、子育て世代が快適に住み続けるための医療インフラとしてかかりつけ医の機能を有する小児医療の規模を増やす必要があることは理解している。小児医療機関の誘致は、誘致して終わりではなく、継続的に支援が必要など多くの課題があり大変難しいことだが、国や県の動向など情報を収集し研究していく。

歯列矯正に助成を

問 子どもの歯列矯正費用に助成をすべきでは。

答 厚生労働大臣が定める疾患に起因した咬合異常など、歯列矯正との関係が明らかかな場合に保険適用になるとともに、発

自治会活動への助成

問 自治会のデジタル活用状況と必要な場合の財政的支援は。

答 自治会におけるデジタル化の推進については、区の実情によりLINEを活用した役員間の連絡や回覧文書の配布、プロジェクトを使用した班長会の開催などを実施しており、町では、県が実施する「静岡県ICTエンジニアート派遣事業」など、デジタル化推進のための情報提供をしている。また、財政的支援としては、パソコンやプリンター、プロジェクトなどの購入費用の一部を助成している。

粗大ごみの再利用

問 焼却場に搬入される粗大ごみや修理すれば使えるものを直して販売することで、ごみの減量、リユース意識の醸成を図るべきではないか。

答 町に排出された「粗大ごみなど」は直接再資源化事業者に引き渡す、もしくは、最終処分場で破碎・分別した後、金属など再資源化が可能なものは、事業者の有償で引き渡している。また、町に搬出せず自らがリサイクルショップに持参するケースも多い。粗大ごみを再使用する自治体もあるが、再使用に繋げるための選別、修繕や清掃作業員の確保、保管、引き渡しを行うスペースに課題があり、事業に要する経費が多いことなどを踏まえ、民間事業者が提供するサービスを活用した事業は考えていない。

一般質問



整備が進みオープンが楽しめる鮎壺公園

整備の進む鮎壺公園の管理体制は

答弁 職員1人の常駐と受付事務は外部委託で調整し、施設の老朽化、教育・保育ニーズの多様化による変化などを見据えた取り組みを計画的に進めていく。

問 整備の進む鮎壺公園の管理・運営体制は。
答 芝生や植栽の剪定、トイレ清掃、遊具点検など専門業者に委託するもののほか、交流施設内で行う受付事務や、管理・運営業務を外部に委託する予定。委託先の候補として、町の歴史的財産や魅力に精通し、地域ネットワークを活用してきた実績を考慮し、ながいずみ観光交流協会に調整している。

問 別室登校の児童生徒への対応、教育センターの状況、また、支援員の不足は。
答 町内小中学校では、教室への入りにくさを感じている児童生徒の学ぶ場を用意しているほか、学校に足がむきにくい児童生徒には、放課後に登校するよう促したり、担任が家庭訪問をしたりして、つながりを切らないようにしている。また、令和6年4月から開設した教育支援センター「いずみ教室」については、当初と比べて利用時間が延びている子どももあり、家庭以外の子どもの居場所としての機能し始めている。特別支援学級の支援員や通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒に対応する支援員をはじめ、心の教室相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど、町は近隣

問 公立幼稚園・保育園・こども園の施設の将来的な構想は。
答 令和6年4月に、公立教育・保育施設再配置計画を策定した。今後の施設整備は本計画のもと、幼稚園は施設存続の基準に基づく統廃合と既存施設の維持向上、保育園は効率的、効果的な運営のための民間移管と統廃合による認定こども園化、認定こども園は既存施設の役割・機能強化をはかるものと

問 子育て支援
答 令和5年8月から北小校区の移動支援が始まった。こうした活動を拡大するため、令和6年度から補助金を創設し助成を開始した。

問 地域住民主体の高齢者の移動支援の実施状況は。
答 令和5年8月から北小校区の自治会で、買い物など店舗への移動支援が始まった。こうした活動を拡大するため、令和6年度から補助金を創設し助成を開始した。

問 その他の質問
答 企業誘致の現場と今後の対応

まちづくり

宮口 嘉隆議員の視点



鮎壺公園の有効活用や学校施設の建て替えの将来的な構想、誰一人取り残さない教育支援など未来を見据えたまちづくりを。

防災

大沼 正明議員の視点



各自治体が安全安心な暮らしのため、多種多様な行政サービスを提供する中、近隣市町と同等の行政サービスを求める。



新耐震基準の補助制度で安全安心を

新耐震基準の周知を

答弁 耐震診断、改修などの補助制度を創設する

問 県は揺れと火災対策強化にTOKAI-Oを増額し、感震ブレイカーの設置を促進させるとした。町の今後の対応は。
答 能登半島地震の被災状況を踏まえ、電気火災を防止するための有効な手段の一つとして補助制度を新設し災害リスクの軽減につなげたい。

問 熊本地震、能登半島地震では新耐震基準で建築された木造住宅が被災し住めなくなっている。2000年耐震基準の周知を。
答 町民の生命財産を守るためには、旧耐震基準で建築された木造住宅の耐震化に加え、新耐震基準で建築された木造住宅の耐震性の向上が重要課題であり、耐震診断や耐震改修などの補助制度の創設に向けた検討に着手している。

問 防災ベッドや防災シェルターの購入設置助成を。
答 生活空間単体の対策ではなく、住宅全体の耐震強化を優先すべきことと考えている。

問 耐震診断や耐震改修などの補助制度の創設に向けた検討に着手している。
答 現在、置き配に関する認知度が向上し、大手配達事業者において受け取り方法のひとつとして確立しているため、補助金制度は考えていない。

問 先日行われた県知事選挙での年代別投票率は。
答 10代36・6%、20代33・5%、30代48・6%、40代53・5%、50代58・7%、60代67・1%、70代以上が61・1%だった。

問 移動投票所の実施を。
答 既に導入している自治体かは考えていない。

給食費無償化

問 たばこ税収入2億8千万円で、給食費の無償化を。
答 たばこ税は目的税とは異なり、普通税であることから一般財源に組み込まれ、福祉、教育、土木、建設などさまざまな分野で活用され、給食の地産地消事業にも活用している。国の給食費無償化検討の動向を注視していく考えであり、現在のところ町の給食費無償化については考えていない。

読んだ・わかった・考えた／ わたしも一言

議会だより No.210「わが町たんけんクイズ」への応募は113件で、議会だよりへの感想や町への「ひと言」も多数いただきました。皆さんは、どう考えますか？

視察レポートはSNSでも！▶



Instagram



Facebook

内田議員による



議員のお作法 ▼紙資源の無駄を省くため、毎回ペーパーレスにて一般質問登壇をしております！

教育施設整備

子どもたちの学舎の整備、本や文化施設への投資など、単純な金銭支援型の子育て支援よりずっと未来のためになり、安心して子育てできると感じました。(30代)

下土狩駅前広場

「下土狩駅前の利便性向上でにぎわいを創出」の記事を読んで、完成イメージ図を参考にすると、とっても期待できますね。完成が待ち遠しい。(70代)

長泉中学校の新築移転は大変意義があることだと思います。小学校も児童数過多で校舎の老朽化も進行しているので、子どもたちのためになることは早急に対応してもらいたいと思います。新中学校では車での送迎などが周辺地域に影響が出ないようにエントランスを工夫するなど、複合施設として町内広域からの利用、来訪などに対応できるようなハード面の工夫を期待しています。(30代)

下土狩駅前の活性化には、大賛成です。歴史のある駅ですので、利便性をどんどん高めてほしいです。そのためには、隣のなめり駅を含んだの施策が必要だと思われます。例えば、アニメとコラボしたスタンプラリーなどが良いと思います。(50代)



No.210は
こちらから
読めます→



149回目!
きっと・ずっと・もっと! わが町 "発見" クイズ
ここ!



ヒント… 鮎壺の湧上部から取水し、延長約500mのずい道と約2kmの水路で造られたかんがい施設。令和5年11月、世界かんがい施設遺産に登録されました。

締切は 8/31 (土) 消印有効

※当選は商品の発送をもってかえさせていただきます

◆前回のこたえは井(上)靖文学館でした。(応募 113 通・正解 113 通)

「本宿用〇」

クイズのこたえと、住所・氏名・年齢・電話番号、議会だよりへの感想を書いて、①②③いずれかでお送りください。

①はがき 〒411-8668 長泉町中土狩828番地
長泉町議会 広報広聴常任委員会宛

② FAX
055-986-5905

③応募
フォーム



応募して
みませんか

委員会 視察レポートPICKUP 先進地の取り組みを町へ

視察研修は、他市町の取り組みを自らの目で捉え、町の未来に生かすために行われます。先進事例を町に落とし込み、提言へ。

今回は総務民生常任委員会と建設文教常任委員会の視察研修の一部をレポートします。

札幌市 【介護サポートポイント事業】

総務民生常任委員会

要介護認定を受けていない65歳以上の方が「介護サポーター」となり、介護施設でのボランティア活動を通じて自身の健康増進を図るとともに、活力ある地域づくりを目指す介護サポートポイント事業を行っています。活動量に応じて現金に交換できる仕組みで、高齢者の意欲を更に高めています。

長泉町にどう生かす？

長泉町の高齢化率は低いものの、介護費用は年々増加しています。活動をポイントで評価することにより、意欲を持った高齢者の介護予防と社会貢献に取り組むきっかけづくりを同時に実現できるこの仕組み。今後の参考とするよう町に働きかけていきます。



ZEB…ネット・ゼロ・エネルギー・ビル。快適な室内環境を実現しながら、省エネ・創エネにより消費するエネルギーをゼロにすることを目指した建物。

久留米市 【既存庁舎ZEB化による環境対策】

建設文教常任委員会

環境部庁舎の窓ガラスや空調設備などを改修し、既存の公共建築物として初めて「ZEB」認証されました。新築に比べ施工の制約が大きく、費用対効果の面から難しいと思われがちな既存建築物のZEB化ですが、久留米市は試算や目標設定を適切に行い、一般的な技術・設備の組み合わせで実現しました。

長泉町にどう生かす？

ZEB化は、脱炭素はもちろん、光熱費などの経費を削減、災害などエネルギー不足時にも有用です。今後町では小・中学校が一斉に更新時期を迎えることから、より一層計画的な維持管理が求められます。環境問題に配慮し、持続可能な施設整備を求めています。



長泉町議会だより「みらいずみ」No.211 令和6年6月定例会

議会のこと、届けます
Instagram・Facebook
はじめました

フォローはこちらから

Instagram



Facebook



みらいずみ

No.211

2024.8.1
(令和6年6月定例会)

発行：静岡県駿東郡長泉町議会
(発行責任者 議長 下山和則)

〒411-8668

静岡県駿東郡長泉町中土狩 828

TEL.055-989-5526

FAX.055-986-5905

✉ gikai@town.nagaizumi.lg.jp

編集：広報広聴常任委員会

委員長 堀内 浩

副委員長 安田三津子

委員 植松英樹・杉森賢二

福田 明・若林 徹

石川美穂・内田幸英

Editor's note

きっと・ずっと・もっと

リニューアルした210号に多くのあたたかい応援メッセージをいただき、ありがとうございました。「みらいずみ」は、皆さんと一緒に、皆さんの声をひとつでも多く届けたいと思っています。今後も、分かりやすく、読みやすい紙面を作っていきます。(若林徹)



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています



▲議会だよりがアプリで読める！
「マチイロ」で検索



杉山さん夫婦(上土狩)

議員が取材！
今号の表紙のひと
interview

パパママ学級
(出産編)

結婚して4年目になります。長泉町は病院や買い物に行くのも便利で必要なものが揃っており、コンパクトで住みやすくキレイな町だと感じています。地域の交流や情報共有がもっとできれば良いですね。出産後も安心して子どもを預け働くことができるようこども園など環境の充実に期待します。

Gikai-voice

今号は「未来に向けた準備」をテーマに、パパママ学級(出産編)取材。赤ちゃんの迎え入れ準備中のご夫婦に、表紙を飾っていただき、この町で暮らす感想もお聴きしました。引き続き、町民の目線で未来を見据えた議会運営を行い、わかりやすく、見やすい広報づくりに取り組んでまいります。

(取材…杉森議員・石川議員)

Gikai information

議会のコト、直接聞いてみませんか？

議会報告会 みらいずみトーク
11月16日(土)開催！

時間：14:00～

場所：地域防災センター



私たちがお待ちしております！

議会の取り組みや各委員会が審議した内容などを、町民の皆さまにご報告します。

参加申し込みはこちら▶



応募フォーム

次の定例会は
9月2日(月)開会予定

審議日程や議案一覧などは8月27日ごろホームページに掲載予定

長泉町議会

